

共通教育をうけて

工学部 建築建設工学科 3年 上良 紗代

共通教育は自分の専門分野だけに偏ることなく、視野を広げて知識を身につけていくものだ、と聞いてはいましたが、大学に入学したての頃の自分の頭の中は、専門分野の事にいっぱい、共通教育はあまり重要なものだとは感じていませんでした。とっつきにくそうな分野もあり、やっかいだ、きちんと単位をとらなければ、という気持ちが強かったと思います。

しかし、実際に受講して思うことは、共通教育は自分が今まで触れたことのない分野に触れるととてもいい時間であったということです。今まで触れたことのない分野での驚きや発見、考えることは自分にとって新鮮で楽しいものばかりでした。今までのような決められた授業を受けるものとは違い、自分の興味のある授業を自分で選び、学べることは面白く、また、哲学など正直とっつきにくそうだ、と思っていた分野でも、先生がわかりやすく授業をしてくれた為、意外と抵抗感も無くスムーズにその分野にもはいることができました。

共通教育に関して改善したほうがいいと思う点を述べるならば、必ずしも授業を履修できるとは限らない点です。実際に私も、曜日が重なっている為諦めなければならない授業が多くあった、抽選で第三希望も外れてしまい履修が出来なかったという経験があります。受けたと思うのに受けられないというのはとても悔しい思いでした。学生が学びたいときに学べるよう、共通教育の授業数を増やし、希望も第三希望までではなく第七希望まで聞かすなどもう少し工夫をすべきだと思います。

共通教育では、どの分野も浅く触れた程度なので、しっかりとした知識を持ったとは言えません。しかし、共通教育のおかげで専門の事ばかり考えていた入学時の視野の狭い私も、少しは視野を広げることが出来、授業の課題1つにしても、今までより様々な方面から見つめたり考えたりが出来るようになったと思います。これからも自分の専門分野だけにとらわれることなく様々なことに興味を持ち、広い視野や知識を持てる人になりたいと思います。